



自由に考えることの素晴らしさ

科学と美しさ

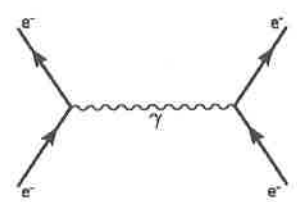
3年次主任 小関 稔

技術の進歩は素晴らしい未来を拓くのか、それとも人類を危機に直面させるのでしょうか。いつの時代にもこの問題は人々の頭を悩ませてきたようですが、最近は人工知能やロボットの発達と普及から、現在ある日本の職業の49%が20年後にはなくなるのではないかとこの予測もあります。人工知能(AI)の進化は留まるどころを知らず、2045年にはAIが人間を超越するような勢いの技術的特異点(シンギュラリティ)が起こると予測されていますが、ソフトウェアの孫正義は「シンギュラリティがやってくる中で、もう少しやり残したことがあるという欲が出てきた」と前向きな発言をしています。このような激動の時代に生きる皆さんには学校で多くのこと

を学び、活用する力を身に付けてほしいところです。技術を理解するには科学に興味をもち、知る必要があります。ここで、私を科学の世界に更に引き寄せた、ある科学者を紹介します。

リチャード・ファインマンは1918年にアメリカで生まれた物理学者であり、1965年に朝永振一郎とともにノーベル物理学賞を受賞しました。量子論やコンピュータに関するさまざまな業績があるのですが、新聞などでも素粒子の説明に使われるファインマンダイアグラムは彼が考案したものです。私が彼に興味をもったのは「冗談でしょうファインマンさん」という本の影響であり、幼少期から大学時代、そして研究者としての楽しく、科学に対する興味関心

を喚起する内容になっています。様々な逸話が紹介されているのですが、「見るだけでラジオを直す少年」の章ではラジオを修理するのに手を動かし分解するのと同様に、内部をじっくり観察することの大切さを、ユニークなエピソードで伝えていきます。さまざまな言葉を残しているのですが、「なぜデカルトは虹を研究したと思う？虹を美しいと思ったからだよ」は強く印象に残っています。虹は空気中の水滴により光が分散してさまざまな色に分かれる現象であることは、1年次の科学と人間生活でも扱っていますが、見える角度に制限があることを最初に説明したのは哲学者・数学者であるデカルトです。現代の科学者が研究テーマを選ぶには時流に乗った論文になりそうな、他の研究者に与えるインパクトが大きいテーマを考えざるを得ない状況があるのですが、ファインマン流のテーマ選びの理由は「美しさ」なのです。美しいものと科学的なものには、例えば雪の結晶やフラクタルなどのように関係がある場合もあります。美しさ故に深く興味をもち研究したのだからと、科学に対して自由に、自分の直観に従い考えることの大切さを訴えています。



ファインマンダイアグラム

うなことを述べています。「私が今日卒業生諸君へのはなむけとしたいことはただ一つ、科学的良心を維持することができるようにといいことです。つまり研究所や大学内で研究費の地位などを保ってゆくために、心ならずもこの良心を捨てざるをえないような圧力を感じることもなく、自由に生きていけるような幸運を、との一念に尽きます。願わくば諸君がそのような意味で、自由であれかしと心から祈るものです。」自分の信念を守り、公平で自由に考えることの大切さ、得難さを語っています。高校を卒業し、新しい環境で働き、学ぶ諸君にも、同じように自分の夢と目標を自由に追求し、信念に従い行動できることを願っています。そして、この変化の激しい時代を生き抜くためには、さまざまな情報を吸収し、自分で活用する力が求められています。高校での授業に、積極的に参加し学習で得たものがそのような力の基礎になっている筈です。

◆平成30年度 3年次進路状況 (2月10日現在)

Table showing career status for the 3rd year of the 2018 fiscal year. Columns include gender, education level (university, short-term university, vocational school), public/private status, and employment type (public servant, private company).

内定先一覧

Table listing career destinations for the 3rd year of the 2018 fiscal year, categorized by university type: National/University (2 schools), Private University (26 schools), Public Short-term University (2 schools), Private Short-term University (19 schools), and Vocational School (17 schools).

Table listing career destinations for the 3rd year of the 2018 fiscal year, categorized by university type: University (19 schools), Short-term University (19 schools), Vocational School (38 schools), and Public Servant (7 schools).

Table listing career destinations for the 3rd year of the 2018 fiscal year, categorized by university type: Public Servant (7 schools) and Private Company (37 schools).

◆平成30年度 2年次1月進路希望状況 (1月9日実施)

Table showing career aspirations for the 2nd year of the 2018 fiscal year in January. Columns include gender, education level, public/private status, and employment type.

◆平成30年度 1年次1月進路希望状況 (1月9日実施)

Table showing career aspirations for the 1st year of the 2018 fiscal year in January. Columns include gender, education level, public/private status, and employment type.

「こだわり」と地元貢献

進路部長 佐藤眞由美

【平成三〇年度 進路内定状況】

今年の3年生は、例年よりも就職者が減少し進学者が増加しています。主な傾向は次の通りです。

《進学》

今年は山大・保健医療大をはじめとする四年制大学への進学者が増加した。山形、宮城を中心として大学を選択している点に大きな変化は無いが、個別に見ていくと、将来の自分の姿を明確にイメージして、学部学科の内容にこだわった大学選択をした生徒が例年より目立っている。

この傾向は専門学校でも強く、同じ学校でも多岐に亘った学科選択が見受けられた。専門学校は、目的意識を持たずになんとなく進学してしまうと、ミスマッチや退学率につながりかねない。明確な将来像を描いたうえで進学というの望ましい形であろう。

中でも、看護・リハビリを中心とした医療系への進学者、保育・幼児教育系は依然として多い。

《就職・公務員》

今年の公務員希望者は、県内での激戦となり、一月末での決定者数は7名。だが、それ以外に一人で複数合格する場合も多く、のべ合格数では13である。「とにかく公務員になりたい」という希望よりも、職種にこだわる生徒が増えたと感じる。一次試験で多く

合格者を出し、二次の面接や小論文で人間性を問われる傾向が強まっているが、本校の二次の合格率が高いのは一年間を通して小論文・面接に力を入れてきた賜物といえる。

全国的な好景気で高卒の就職希望者が増加する中、本校では大きな変化はない。むしろ、当初就職希望だった生徒が、就職活動をすすめる中で進学に切り替える例が複数あった。これは就職が「職に就く」ことだけを目指すのではなく、自分の生き方を選ぶものと考えているためではないかと考えられる。ほぼ県内に就職している本校生。地元を支えているという自負を持って頑張っている。

『あなたたちの進路です。』

1年次主任 後藤 功

第3回の進路希望調査を行いました。集計したところ進学・就職・公務員など多種多様の希望がありました。結果を見て「協力するから頑張つてほしい。」と素直に思いました。私は立場上、文章を書く機会が多めにあるのですが、今回は進学希望者に今後どう指導していくかについて書いてみます。進学希望者について思うことは単純明快で、『希望する所に行つて欲しい。』ということだけです。先生方から「あなたは〇〇だから●●にしなさい。」は基本的ありません。自分の進路です。自分で考えてください。行きたい所が

決まってくれば、先生方は遠慮せず「どの程度のレベルなのか?」「どれぐらい努力しなければならぬのか?」「何をどう勉強すべきなのか?」などの話をします。現実的な話をされると「今のままでは合格しない。」とか「私には無理。」と全否定された気分になるかもしれません。しかし、このようなやり取りの理由として

- ①目標レベルを正しく知ること。
- ②入学後、その中で学び・競い・楽しみ、成長していく覚悟を確認する。
- ③少ない努力で何となく大学に合格、後で後悔することを防ぐ。

などがあげられます。現在は大学進学を叶えるだけなら、いくらでもできる世の中です。そんな世の中だからこそ、ハッキリとした目的意識と強い気持ちを持って、「行きたい」と思える所に行つてほしいのです。

そのため生徒は「どこに行きたいのか。」保護者であれば「どこまでサポートできるか。」ということまで普段から話しておくことです。仮に保護者が「あなたに任せる。しっかり考えて行動しなさい。」と言つてくれたら、後は勉強するだけじゃないですか。ありがたいことです。

予測不可能な田中さんの人生

2年次主任 鈴木 優子

児童高校の教育目標は「個性を伸ばし、想像力を豊かにして、共に生きる社会に貢献できる人間を

めざす。」となっています。さて、共に生きるとは、いったい誰と生きるのでしょうか。仲のよい友達ばかりではありません。国籍や地域、性差、障害等を越え、共に生きるということなのだろうと私は解釈しています。分かりあえないといつてかわらないわけにはいかないし、言葉が違うといつて意思疎通なしという時代でもありません。

さて、国籍や地域を超え、などという声は聞こえてきそうです。そんなあなたに先日のエピソードを紹介いたします。近所に住む田中さん(38歳)は高卒で県内の製造業に就職しました。一生山形で暮らすつもりでした。高校の時は自分に一番関係ない科目は英語だと思つていたそうです。そんな彼が今、寝る間も惜しんで英語の勉強をしています。なぜか。来週からフィリピンに3年間の長期出張に出かけることになったのです。上司にいわれたそうです。「英語ができないと仕事にならないから。」と。彼はため息まじりにこういいました。「こんな展開になるとは夢にも思わなかった。海外だけはほんとなーいと思った。もつと英語やっておけばよかった。」グローバル化の一例といえるでしょう。自分には何が関係ないかなんて全く予測不可能ですね。田中さん、頑張れ。

◆合格者インタビュー◆

自信

東北学院大学
経済学部 共生社会経済学科
工藤 愛彩

Q なぜその大学・学部・学科を選んだのですか？
A 毎朝の登校時、外国人労働者と挨拶を交わす中で、彼らが日本経済を支えていると実感しています。私たちが言葉や文化は違いますが、同じ人間として「共生」していきたいと考えました。オープンキャンパスに参加し、性別、年齢、ハンディキャップ、国籍、文化などが異なる多様な人々が共生するためにどうしたら良いかを詳しく学びたいと考えたのがきっかけです。この学科では経済学の基礎にプラスして、共生社会についての仕組みを学ぶことができます。講義で学んだことを、フィールドワークやゼミに活かすことができる点にも魅力を感じました。

Q 受験対策や勉強で工夫したところは？
A 私は学業推薦入試を受けました。試験内容は要約ありの小論文と面接でした。全学部統一の小論文なので、経済分野に限らず、幅広く対策問題をこなしました。記事の内容を要約し、自分の意見をまとめるという新聞スクラップが効果的だと思い、継続しました。面接対策は、抽象的な質問から具体的な質問をされても全てに対応できるように練習しました。また、日々の授業に真剣に取り組んだことが、進路実現につながったと思います。

Q 後輩へのアドバイス
A 推薦を希望している人は、定期テストに本気で取り組むこと。図書館等を利用して読書すること。毎日新聞を読む習慣をつけること。少しずつ努力を積み重ねることで自信を持つことができます。今から準備を始めましょう。応援しています。

自分の為に
山形厚生看護学校
大貫 桃花

自分の為に

Q なぜその学校を受験しようと思ったのですか？
A 私はインフルエンザから肺炎になった経験があり、その時の看護師の方が優しく対応して不安を和らげてくれました。それから、「私もたくさんの人から頼りにされ、患者さんの不安を取り除ける看護師になりたい」と思うようになりました。

Q 受験対策や勉強で工夫したところは？
A 私は公募推薦で受験したため、国語（現代文）と面接でした。国語は問題傾向を見るために過去問題を何度も解きました。小論文も過去問題に取り組み、担当の先生に添削してもらいました。その中で特に力を入れたのが面接練習でした。過去に質問されたことをまとめるだけでなく、先生に質問を考えてもらったり、昼休みにも練習してもらったりと、たくさんサポートしてもらいました。また実際に進学した卒業生の方から話を聞いたりして対策をしました。

Q 後輩へのアドバイス
A 1、2年生の皆さん、受験は本当にあつという間にやってきます。今のうちでできる情報収集や学習、部活動などに全力で取り組んでください。

組んでください。私が受験で感じたことは「先手必勝」ということです。早く対策すればするほど合格への道が拓けると思っています。一、二年生のうちにたくさん悩み自身のために頑張ってください！応援しています。

夢に向かって

村山市役所（消防）
鈴木 修平

Q なぜ村山市消防を目指したのですか？
A 小学生の頃、消防署を見学する機会があり、人々の命を必死で守る姿に憧れました。その後、2011年の東日本大震災をはじめとした災害等の最前線で人命救助や消火活動を行う様子を見て、消防士が夢から目標に変わりました。

Q 受験対策や勉強で工夫したところは？
A 高校3年生の夏休みには、同じ志望の友達と一緒に図書館に行き、お互いに問題を出し合ったり、わからない部分を教え合ったり、切磋琢磨して頑張りました。公務員講習では講師の先生の話をしつかり聞き、大事な点を押さえられるように心がけました。消防士には体力試験もあるため、勉強の日とトレーニングの日を決めて、その中でもさらに毎日の目標を立ててコツコツ努力しました。

Q 後輩へのアドバイス
A 私は本番が近づいてくる時間のなさを痛感しました。そうならないために、まだ余裕があると思わないで、今から少しずつ勉強やトレーニング、ボランティアに取り組んでください。

やりたいことの実現

株式会社ヤマザワ
山路 永遠

Q なぜ株式会社ヤマザワを選んだのですか？
A 私は人と関わりサービスを提供する仕事に就こうと思っていました。また、ヤマザワは幼いころから一番利用していて親しみがあったこと、小学校への寄付や東日本大震災の復興援助などを行っていて、地域に深く根ざしていることが理由です。企業見学の際に、お客様の要望にスムーズに対応していて、社員の方々の仲も良く、働く環境が整っていると感じました。

Q 受験対策や勉強で工夫したところは？
A 学科試験に向けて、就職用の問題集を購入し、1日各教科数ページに取り組みました。完璧に覚えるために、間違えたところだけを1回解くことを繰り返し、1問も間違えがなくなるまで続けました。面接練習では、担当の先生はもちろん家族にも協力してもらいました。面接ノートを作って振り返りも行いました。そのおかげで、試験当日も緊張せずにゆつくりはつきり答えることができましたと思います。

Q 後輩へのアドバイス
A 後悔しないためには「自分のやりたいことをやっていくことが大切だと思います。たとえそれで失敗しても悔いは残らず、むしろ前向きに良い経験ととらえることができると私は思います。悔いのない人生を送るためにも、自分のやりたいことをやり続けてください。